PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

ピース

第４号

２００９．０３．０３

戦争に抗した人たち

「戦時下の国民生活」について学習してきました。情報が操作され、国民も物資も戦争につぎ込まざるを得ない状況下にありました。戦争そのものに反対することが極めて困難な時代でもありました。しかし、『はだしのゲン』の父親である中岡大吉 さんや『聳ゆるマスト』の木村荘重さんたちのように、「戦争に抗した人たち」も存在しました。特に木村荘重さんは、木部村長も務めた経歴を持つ木部ゆかりの人物です。昨年８月、東京で開催された研究会で木村荘重さんのことを広島の先生に教えていただき、10 月には実際に呉に行く機会を得ました。「大和ミュージアム（呉市海事歴史科学館）」や「てつのくじら館（海上自衛隊呉史料館）」を見学したり、海上自衛隊の隊員たちが体操する姿を横目で見たりしながら、70 年以上も前の反戦水兵たちの姿に思いを馳（は）せていました。「自分というものをしっかり持っている。」彼らの姿を通して、そういう彼らの強さを私は学びました。

警察の人にひどいことをされても、気持ちは変わっていなくて、自分の意見をしっかり持っていて「すごいな」と思いました。

戦争に反対することがとても難しい中で、自分の信念を貫いて反対していた中岡さんたちは「すごい」と思いました。当時戦争に抵抗することは、本当にたいへんだったんだなあと思いました。

今は戦争はいけないことだけど、昔は「正しいことだ」と言われていたことに驚きました。でもそんな中に、少しでも戦争に抗する人がいてよかったと思います。今の平和な世の中は、そういった人々の意思があったおかげでできたんだと思います。

戦争は怖いなあと思いました。今戦争がおこっていなくて本当によかったです。でも戦争があった時代の人たちは、すごく苦しかっただろうなあと思いました。